

平成28年度 ヨネスコ *NISHITA* ESD 子供報告会 実施計画案

1 ねらい

- ・ ESD カレンダーに即した総合的な学習の時間や生活科で行った1年間の学習を振り返り、個人の成果を発信する機会とするとともに、前後の学年の発表を見合い、次年度の学習についての目標をもたせる。
- ・ 西田小学校として取り組んできたESDの学習の成果を、保護者や地域、関わってくれた関係諸機関に発信することで、児童の学びの深まりや成長を受け止め、励ます関係づくりを培うとともに、児童の学習に協力する地域体制（かかわり）を強くする。

2 日 時 平成29年2月25日（土）1～3校時（8時50分～11時10分）
※時数は「生活科・総合的な学習の時間」 3時間とする。

3 場 所 北校舎 各教室を基本とする。

4 案内送付 ESDの学習に関わった講師・関係者・1人1人関係者
近隣幼・保/松溪中関係者（園児・生徒）・区内他校の教職員
教育委員会、同窓生、地域 他

5 内容・方法

- ・ 各学年や学級毎に報告する内容を工夫する。前半・後半で報告する側と報告を聞き合う側とを交替する。
- ・ 報告するものはその学年が1年間を通して学んだESDに関連したものとし、研究推進部会で内容を確認し、調整を行う。
- ・ 報告内容は各学年で相談し、児童が目的意識や相手意識をもって、分かりやすく発表できるように支援する。また聞く側の児童も関われるような工夫を考える。
例：全体一個の報告 学年をテーマ毎に分けた発表 質疑応答や話し合いを途中で設定
PowerPoint／紙芝居／ポスターセッション／ワークショップ／劇／タブレット報告
- ・ 各児童の報告は時間内（50分間）になるべく多くの回数を体験できるように工夫する。
例：各教室に複数のブースを作り繰り返し発表
※発表場所や発表順を表示する（できれば事前に保護者には連絡する）
- ・ 参加型の発表では保護者の参加は児童優先とする旨を事前に学校から通知で伝える。
- ・ 振り返りは、グラデーション折り紙を使用し短時間で行う。真ん中に個人の振り返り（感想+理由）を記入し、紙の周囲には友達が簡単なコメントを記入して共有する。（発表はしない）
- ・ 聞き手側には「いいね！カード」（付箋）を事前に渡し、3年生以上はコメントも書けるように工夫する。
- ・ 聞き手のルールとして一人の発表が終わる区切りまでは途中退席はしないことを事前指導する。

- 6 発表対象** 一つ下の学年児童・同学年の児童・保護者・地域
2年生→3年生の発表には一つは必ず聞きに行く。

7 当日の時間的な流れ

| 時刻 | 内 容 | 備 考 |
|---------------|------------------|---------------|
| 8:25 ～ 8:35 | 朝の会 | |
| 8:35 ～ 8:48 | 報告会児童準備 | 大きいものは前日に用意 |
| 8:48 ～ 8:50 | 放送朝会（校長挨拶）→開始合図 | 司会：専科 |
| 8:50 ～ 9:40 | 前半報告会（発表）【50 分間】 | トイレは適宜・途中で合図 |
| 9:40 ～ 9:50 | 移動時間・入れ替え | 放送にて |
| 9:50 ～ 10:40 | 後半報告会（発表）【50 分間】 | トイレは適宜・途中で合図 |
| 10:40 ～ 11:00 | 片付け | 簡単片付け、すぐ振り返りに |
| 11:00 ～ 11:10 | 振り返り | ※1 年は帰り支度 |
| 11:10 ～ 11:25 | 帰り支度・下校指導 | 完全下校 11:25 予定 |

※14:00 より「ユネスコスクール東京ネットワーク」が本校第 2 図工室で開催予定

8 各学年の考えられる発表内容例

＜第 1 学年＞ 単元名「もりと なかよし」

| 発表事例 | 発表内容・方法例 |
|-----------------|--|
| ・マイベストショット（写真展） | 各自が撮った写真を提示し、ベストの理由や写真から気付いた幾何学の原則や自然との調和について報告する。 |
| ・制作物の発表やゲームの体験 | 研究授業で体験した自然を使ったお店屋さんごっこ（ゲームや劇）の体験 |

＜第 2 学年＞ 単元名「わたしの町はっけん！（西田遺産）」

| | |
|---------------|--|
| ・ガイドツアーを体験しよう | 西田遺産ガイドツアーの模擬体験版。写真やインタビューの内容を紹介しながら複数の西田遺産を体験するツアー。 |
|---------------|--|

＜第 3 学年＞ 単元名「自然とともに暮らそう」

| | |
|------------|---|
| ・環境サミット報告会 | 環境サミットに報告した内容とともに各自が調べた昆虫が住みよい環境づくりで取り組んだことを報告する。 |
|------------|---|

＜第 4 学年＞ 単元名「みんなに優しい町づくり（人権・福祉）」

| | |
|-----------------------------|---|
| ・こんな時どうする みんなに優しいかわり方 | 身障者などの困っている状況を説明し、どのように対応したらよいか、自分の体験をもとに報告する。 |
| ・認知症教室 | 認知症とはどういう状況なのかを劇を交えて報告し、対応策を参加者とともに考える。 |
| ・ユニバーサルデザイン 西田の町 改造計画の提案 | 身障者等の弱者の立場から西田の町を見直し、改善点や改善策を提案し、やさしい町づくりを杉並区に提案する。 |

＜第5学年＞ 単元名「日本のよさを知り西田から世界に発信しよう」

| | |
|------------------------------|---|
| ・杉並のよさの報告 | 各自が調べたり、インタビューしたりした内容を基に、自分が考えた「杉並のよさ」を紹介する |
| ・富士山レンジャーの取組 オイスカと世界の環境問題 | 移動教室で学んだ富士山の美しさの紹介と富士山レンジャーの活動を紹介します。 世界の環境課題を取り上げ、自分の考えた対応策や具体的な取組んだ結果について報告する。 |
| ・日本文化について | 日本の食文化や伝統芸能について取り上げ、日本のよさや日本のおもてなしの心について報告する。 |

＜第6学年＞ 単元名「世界に向けて羽ばたこう」

| | |
|-------------------------------|--|
| ・平和づくり宣言（最終報告会） | 一年間通して学んだ平和についての定義と改善策、自分が取組んだ結果について報告し、平和について考える。 |
| ・国際貢献「届けよう服のチカラプロジェクト」を体験して | 難民問題や服のチカラプロジェクトの取組を紹介し、自分が考えた国際貢献の大切さについて考える |
| ・テレビジョン収容所の若い画家たちからのメッセージを考える | ナチスドイツが行った人権侵害やアンネの日記等を関係づけ、人権について話し合う。 |

9 係分担（前日まで）

| 内 容 | 担 当 |
|--------------------------------------|-------------|
| 看板作成 | 副校長 |
| ESD 子供報告会開催通知（保護者・地域向け） | 副校長 |
| 報告会ご案内（来賓）・お礼の挨拶文 | 副校長 |
| 報告会参加者・参加団体・保育園の把握 | 各学年研究担当・副校長 |
| 報告会内容指導・会場準備 いいねカード準備・グラデーション折紙指導 | 各学級担任 |
| 報告会のしおり（内容紹介） | 研究推進部 |
| 表示作成（単元名クラス掲示・いいねボード他） | 研究推進部 |
| 主事さんに片付け依頼・校内整備 | 副校長・主事 |
| 反省とまとめ | 研究推進部 |
| 受付準備 | 副校長・事務 |
| 表示計時・撤収 | 専科・副校長 |
| 前日までの写真記録・放送関係 | 専科 |
| 物品購入（調整を含む） | 研究推進部・事務 |
| 使用物品調整・配当 | 研究推進部 |
| 使用視聴覚機器調整・配当 | 研究推進部 |
| 控室準備（第二図工室※ ₁ ） | 副校長・用務主事 |

※1 第二図工室は午後の1校中東京ネットワークで使用予定。
報告会で第二図工室を希望する学年があれば調整する。

10 係分担（当日）

| 内 容 | 担 当 |
|---------------------|-------------|
| 看板設置・来賓入口表示 | 副校長 |
| 受付（児童昇降口にて） | 事務・用務主事 ※2 |
| 来賓への対応 | 副校長 |
| 放送 | 専科 |
| 写真記録（児童の活動様子） | P T Aに依頼 |
| 児童管理（1 年中心） | フリーの教員 |
| 救護 | 養護教諭 |
| 緊急対応 | 専科・副校長 |
| 校長室接待 | 用務主事・副校長 |
| 報告会後の片付け・ゴミ処理 | 各学級担任・用務主事 |
| 東京ネットワーク会議準備（受付・お茶） | 副校長・事務・用務主事 |

※2 事務・用務主事の勤務を要請する必要がある。

※副校長・専科・事務・用務主事はトランシーバー使用して対応

11 当日までの計画

| 日付 | 曜日 | 予 定 |
|-------|----|--|
| 1/24 | 火 | 各学年発表概要決定 |
| 1/30 | 月 | 報告会案内（第 1 次）発送・東京ネットワークへ情報 |
| 2/13 | 月 | 各学年発表方法・必要物品提出 →使用物品調整・視聴覚機材調整 |
| 2/15 | 水 | 各学年発表内容紹介文提出 |
| 2/17 | 金 | 保護者・関係者案内（第 2 次）発送、主事さんとの調整 |
| ～2/24 | | 参加者把握・表示計画確認・看板作成・お礼文印刷 東京ネットワークとの打合せ |
| 2/24 | 金 | 前日準備 |
| 2/25 | 土 | 当日・片付け（できる範囲で）、東京ネットワーク開催 |
| 3/6 | 月 | 反省アンケート回収締切→係まとめ |

12 連絡

勤務は午前中（4時間）のみ。

1次スクール東京ネットワークに参加する場合は出張扱い（調整）にします。